

申第5号 「『タッチでエキナカ』ならびに『JRE POINTの新サービス』に関する申し入れ」団体交渉実施。

## 不正乗車は許さない！

8月18日、東京地本は申第5号「『タッチでエキナカ』ならびに『JRE POINTの新サービス』に関する申し入れ」の団体交渉に臨みました。

今年3月より、JR東日本の新サービスとして開始された「IC入場サービス」ですが、職場で働く社員から不正乗車の心配が出ていました。これまで、正義感と誇りを持って業務にあたってきた社員からの声を基に、交渉に臨みました。

### 機械に置き換えられるものは機械に

交渉の中で、今後の駅のあり方について議論となりました。支社側からは、「駅の変革のスピードアップ」で示した通り、機械で置き換えられるものについては機械に置き換える。また、介助など「人ならではのもの」については残る、という回答がありました。

### 新たな精算機を順次投入

しかし「モバイルSuicaの精算ができない機械がある」という指摘に対して、支社側からは「新たな精算機に順次置き換えを行なっている」と回答がありました。

今後も、新たな施策とそれを補完するハードのミスマッチがないようにしていく必要があります。

### 正しく取り扱っている人が馬鹿を見ないように

「タッチでエキナカ」については、これまで通りの取り扱いであり、今後もお客様に周知を行なっていく、と回答がありました。

また、それとは別に、新たに懸念される不正乗車についても議論となり、防犯カメラの活用も視野に、不正乗車は許さないとする姿勢が示されました。

### 新JREPOINTサービスは一年間のトライアル

「新JREPOINTサービス」については、列車混乱時の取り扱いについて指摘しましたが、「一年間のトライアルである」と、今後の検討課題となりました。

今後も東京地本は、お客様が利用しやすいJR東日本を目指して、取り組みを進めていきます。

